

地方経済

応の印刷物は岡山県内で、
初めて」(同社)という。同協会は、環境活動に
日本水なし印刷協会 伴うCO₂排出権の調達・
(東京)の事業に参画。管理などを手掛ける一般
印刷工程で使われる紙や 社団法人・日本カーボン
インキの種類、量などに オフセット(東京)と提
応じて予想されるCO₂の 携している。

二鶴堂 水なし印刷で運用 環境保全貢献目指す

印刷業などの二鶴堂 排出量を算出し、量に
(新見市金谷)は、有害な じて同協会に必要額を支
廃液を出さない「水なし 払う。同協会からCO₂削
印刷」で、カーボンオフ 減証書が発行され、印刷
セットの運用を始めた。 物にカーボンオフセット
「カーボンオフセット対 利用であることを記載で

水なし印刷で作製したパンフレット



二鶴堂は1995年に 用。大西洋社長は「カ
水なしオフセット印刷機 ーボンオフセットの利
を導入し、環境に優しい 用を積極的にPRし、
植物油由来のインキを採 環境保全に貢献した
い」と話
ている。
同社は1
963年設
立。資本金
3千万円。
売上高約4
億円(20
10年2月
期)。従業
員45人(パ
ート含む)。
(古舞雅子)

ズーム カーボンオフセット 企業が個人が排出したCO₂を、植樹などの森林整備や自然エネルギーへの転換を支援することで自主的に相殺(オフセット)する仕組み。CO₂排出削減事業に資金提供したり、京都議定書に基づく排出枠を購入して行う。

「カーボンオフセット」導入企業次々

商品の製造過程などで発生する二酸化炭素(CO₂)を、環境活動への貢献などで抑制したとみなす「カーボンオフセット」制度の導入が地場企業で相次いでいる。

スーツ販売の青山商事(福山市王子町)は、カーボンオフセット付きのスーツを発売した。オーストラリアのNPO法人が提唱する環境保全活動に協賛し、植樹を支援する。カーボンオフセットを導入したスーツは業界初という。
スーツ製造の際に発生するCO₂を、1着当たり0.28本の植樹で相殺する仕組み。青山商事が経費を負担し、NPOが認定したオーストラリアの羊牧場が植樹する。販売価格には上乗せ

春夏向けスーツ発売

青山商事 豪の植樹活動支援

しない。認定牧場から原毛を購入し、スーツの材料に用いる。
第一弾として、来年春夏向けの5ブランドに採用。カーボンオフセット製品を
示す専用タグを付け、今月から「洋服の青山」の店舗で順次、取り扱いを始めた。初年度は販売総数の約10%にあたる25万着、3年後に100万着に導入を目指す。(重成啓子)



青山商事が販売を始めたカーボンオフセットスーツ。専用タグが付いている